

令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領

2年度発中畜第1015号

令和2年6月15日

1 趣 旨

公益社団法人中央畜産会（以下「中央畜産会」という。）は、中央畜産会の会員団体等（以下「畜産会等」という。）が行う支援活動を通じて明らかにされた優秀な実績を収めている畜産経営またはグループ（以下「畜産経営」という。）ならびに経営の課題解決に取り組んでいる畜産経営を広く求め表彰するとともに、全国優良畜産経営管理技術発表会（以下「発表会」という。）を開催し、もってこれら畜産経営の成果とそれを支えた経営管理技術の普及拡大に資する。

2 主催者（実施主体）

この発表会は、中央畜産会が主催する。

3 参加資格

1) 畜産会等が行う支援活動の対象となった畜産経営であって、以下の条件のいずれか1つ以上を満たすもの。

(1) 優良な実績を収めており、その実績の内容ならびにそれを支える経営管理技術の内容が明確であるもの。

(2) 経営の課題解決のための取り組みを行っており、その取り組みや活動の内容ならびにその過程が明確であるもの。

(3) 個人又は組織の活動における女性の活躍を推進し、又は女性が顕著な貢献をしている取組又は経営管理を行っているもの。

2) 当該年度において、他の団体・機関の開催する「農林水産祭」参加行事に出品していないこと。

3) 当該年度前2カ年間に農林水産祭参加行事において、出品財「経営」での農林水産大臣賞を受賞していないこと。

4) 個別経営における家畜の飼養規模は、以下のとおりとする。

(1) 酪農経営にあつては、経産牛10頭以上。

(2) 肉用牛経営にあつては、繁殖牛・肥育牛5頭以上。

(3) 養豚経営にあつては、80頭以上の経営。ただし繁殖専門経営の場合は、子取りめす豚10頭以上の経営。

(4) 採卵鶏経営にあつては、成鶏700羽以上。

(5) 肉用鶏経営にあつては、年間出荷30,000羽以上。

4 参加畜産経営等の推薦

畜産会等は、参加畜産経営を5の2)の審査の視点に基づき事例を選定し、中央畜産会が別に定める様式により、中央畜産会へ正副2部提出するものとする。

5 審査の方法と視点

1) 審査の方法

中央畜産会は、学識経験者等を中心として構成する審査委員会により、畜産会等からの推薦のあった書類に基づき、最優秀事例、優秀事例を選考する。なお、審査委員会が必要と認めた場合は現地確認を行うことができるものとする。

2) 審査の視点

審査の視点は、畜産経営の生産性・収益性等の経営実績、それを支える経営管理技術および課題解決のための取り組みや活動の内容、その成果に関する以下の諸点とする。

- (1) 経営展開上の合理性、堅実性、普及性、持続・安定性
- (2) 地域との融和等に関する合理性、普及性、持続・安定性

6 表彰

1) 表彰の種類

- | | | |
|-----------|--------------------|----------|
| (1) 最優秀事例 | ： 農林水産大臣賞 | 4点 (予定) |
| | 地方競馬全国協会理事長賞 | 4点 (予定) |
| | 中央畜産会長賞 (最優秀賞) | 4点 |
| (2) 優秀事例 | ： 農林水産省生産局長賞 | 4点 (予定) |
| | 中央畜産会長賞 (優秀賞) | 4点 |
| (3) その他 | ： 審査委員会が特に必要と認める場合 | |
| | 中央畜産会長賞 (特別賞) | 必要と認める場合 |

2) 表彰の対象

次に掲げる事項のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる個人経営の場合にあっては、夫婦連名で表彰することができるものとする。

ただし、表彰の対象は、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞、農林水産省生産局長賞、地方競馬全国協会理事長賞、中央畜産会長賞 (最優秀賞・優秀賞) および審査委員会が特に必要と認める場合 (中央畜産会長賞 (特別賞)) に限る。

- (1) 家族経営協定を締結していること。
- (2) 経営主の配偶者の作業分担、経営主の従事日数に対して配偶者の従事日数が概ね5割に達していることが確認できること。
- (3) 農業改良普及センターまたは類似の普及指導組織等による意見書が添付されていること。

7 行事

1) 発表会

参加畜産経営者等ならびに畜産会等関係者の参集のもと、令和2年11月に東京都内において発表会を開催し、優秀な実績および特色ある取り組みや活動内容について普及拡大に資する。

2) 農林水産祭への参加

この行事は「農林水産祭」に参加する予定である。

8 費用の負担

この事業に要する費用は、中央畜産会が負担する。

9 告知日

令和2年7月1日

10 その他

本要領に定めのない事項については、中央畜産会会長が別に定める。

2年度発中畜第1504号
令和2年7月13日

公益社団法人 群馬県畜産協会 会長 様

公益社団法人中央畜産会
会長 森山 裕
(公 印 省 略)

令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会に係る優良畜産経営の
推薦について(依頼)

日頃から本会の業務につきましては、ご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、6月18日付け事務連絡にて開催をお伝えしておりました標記発表会につきましては、この度、第60回農林水産祭参加行事として承認され、農林水産大臣賞状4点と生産局長賞状4点についての交付が認められました。

つきましては、別添「全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領」に基づき開催いたしますので、下記のとおりご案内申し上げると共に、優良畜産経営事例のご推薦をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1 推薦様式

事例推薦調書の様式データについては、
<http://jlia.lin.gr.jp/superior/kaisai/>に掲載していますので、ダウンロードしてご利用ください。

2 推薦調書の提出方法及び提出期限

(1) 提出方法

推薦調書を作成の上、本会宛に郵送するとともに、4「本件お問い合わせ先」のメールアドレス宛にも送付してください。

(2) 提出期限

令和2年8月7日(金)

(3) 支出基準について

全国優良畜産経営管理技術発表会に係る調査費等支出基準については、別添のとおり。

※なお、開催要領、事例推薦調書、支出基準について、先般お伝えしている内容から変更はございません。

3 表彰式までのスケジュール

- (1) 第1回審査委員会：9月上旬
- (2) 現地確認調査の実施期間：9月下旬～10月末
- (3) 第2回審査委員会：11月上旬
- (4) 事例発表・表彰式：11月25日（水）

※なお、(2)の現地確認調査及び(4)事例発表・表彰式の実施方法等については、新型コロナウイルス感染拡大状況等を踏まえて、改めてご連絡いたします。

4 本件の問い合わせ先

経営支援部(支援・調査)

半田

TEL：03-6206-0843 FAX：03-5289-0890

E-mail：shien@sec.lin.gr.jp